

## 平成30年 第38回 四区親善少年野球大会 競技上及び審判上の注意事項

本大会は、公認野球規則及び全軟連規定を適用する、但し次の規定を優先する。

1. **ベンチ**は組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。
2. **イニング**  
試合は7回戦とし、1時間30分を過ぎたら新しいイニングに入らない。
3. **参加資格**  
参加資格は、高学年は6年生以下、低学年は4年生以下の少年・少女の同一支部内で編成した支部登録のある単独チームとする。尚、補強は認めない。不正出場その他規則違反に対しては連盟規定により処理する。
4. **タイブレーク方式**  
延長戦は行わず、7回終了時または制限時間が過ぎて同点の場合は、タイゲームとして正式試合を打ち切り、タイブレーク方式を適用して試合を続行する。タイブレーク方式は無死満塁継続打順とし、決勝戦を除き最大2イニングまでとする。勝敗がつかない場合は抽選によって勝敗を決定する。決勝戦は勝敗が決定するまで特別方式を繰り返す。
5. **コールドゲーム**  
コールドゲームは、4回終了時以降10点、5回終了時以降7点差、及び降雨、日没により5回以降継続不可能となった時とする。正式試合の成立は、4回終了時とする。
6. 小学生は投手が変化球を投げることを禁止する。ペナルティーは「競技者必携」を参照する。
7. 用具について、打者・走者・次打者・ベースコーチは、両側にイヤーフラップのついたヘルメットを着用。捕手はプロテクター・レガーズ・ファールカップ・ヘルメット・マスク（スロートガード付き）を必ず着用する。金属バットは、J.S.B.B.のマークの入ったものを使用する。
8. ボークは1回目から適用する。
9. 抗議のできるものは、監督及び当該プレーヤーとする。但し、判定についての抗議は認めない。
10. 相手チームへの個人的なヤジや品位のない行為は認めない。
11. **チームの集合**  
試合開始予定時刻30分前に大会本部にメンバー表4枚を提出し検印を受け、1枚は自チーム控えとする。試合開始予定時刻に集合しないチームは棄権扱いとする。
12. 投手に対するアドバイス等は監督がマウンドに行ってもよいが、その際は小走りで往復すること。尚、グラウンドに入ることができるのはチーム同一ユニフォームを着た監督・コーチのみとする。
13. 背番号は選手0～99（主将は10）の20名以内と監督30、コーチ29、28番、登録は男女を問わない。
14. ベンチ入りは監督・コーチ2名・スコアラー・チーム代表者・引率責任者の計6名と登録選手。
15. 青少年の健全育成活動のひとつとして、グラウンド周辺のごみの処理を選手に呼びかけ各自持ち帰りを指導していただきます。
16. グランドルールは担当区の審判長の指示に従う。
17. 試合中及び球場への往復の事故について、主催者側は一切責任を持ちませんのでご注意の上ご参加ください。

### 低学年の部 注意事項

1. 試合は5回戦とし、1時間20分を過ぎたら新しいイニングに入らない。コールドゲームは3回終了時以降10点、4回以降7点差、及び降雨・日没により継続不可能となった時とする。正式試合の成立は3回終了時とする。
2. 塁間及び本投間は次のとおりとする。 塁間：21m 本投間：14m
3. ボークをとらず注意とする。ボークによって攻撃側が不利な判定を受けた場合はそれを取り除く。（投手指導を目的とする）